

# イノシシ・シカ用電気柵

1辺に1カ所、  
電線同士を電線でつなぐ  
(電気柵が四角形なら4カ所)

24時間／365日  
通電！

パワー  
ユニット

危険

120cm

90cm

60cm

40cm

20cm

約2m間隔

アースは全部  
下まで埋める

草で漏電しやすい箇所は  
防草資材  
(黒マルチ、防草シート等)

## 電気柵の基本

- ・家庭のコンセントに直接つないではいけない。
- ・必ず24時間365日通電させる。
- ・電圧は4000V以上、碍子は外向きに。
- ・絶縁性の支柱を使う。
- ・メンテナンスが可能なスペースを作る
- ・動物が触れる高さのダミー線は絶対ダメ！



溝などにより、電線と地面の距離が20cm以上になる場合は、その部分に電線を垂らす等してイノシシが潜り抜けないようにする。



電気柵に、草や枝などが触れて漏電しないようにする。  
(写真のように防草シートを敷くと管理が容易)



舗装道路等コンクリートから、50cm以上離して設置する



50cm以上

動物が地面に脚を着けられるくらいの長さ



電気柵の内外1m以内に農作物が無いようにする。  
植わっている場合は伐採や縮伐等する。



四隅は力が加わるので支柱は複数使用するなどして頑丈にする